

# nisseki news

## 日赤ニュース

no.55  
2015

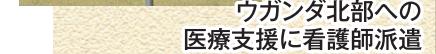
- 楠田 新院長のご挨拶 ●村林院長、退任のご挨拶
- 伊勢赤十字病院2014年度の出来事



## 伊勢赤十字病院 2014年度の出来事



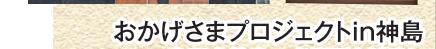
環境美化活動  
職員による病院敷地  
ならびに周辺の清掃



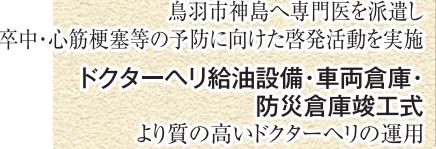
ウガンダ北部への  
医療支援に看護師派遣



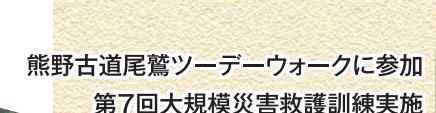
「救急医療功労賞」受賞  
救急医療功労者厚生労働大臣表彰式



おかげさまプロジェクトin神島  
鳥羽市神島へ専門医を派遣し  
脳卒中・心筋梗塞等の予防に向けた啓発活動を実施



ドクターヘリ給油設備・車両倉庫・  
防災倉庫竣工式  
より質の高いドクターヘリの運用



熊野古道尾鷲ツーデーウォークに参加  
第7回大規模災害救護訓練実施



自衛消防訓練

2014

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

「医療福祉建築賞2013」受賞  
医療福祉建築賞



おかげさまプロジェクトin桃取  
鳥羽市答志島桃取へ専門医を派遣し  
脳卒中・心筋梗塞等の予防に向けた啓発活動を実施

医療の現場体験ツアー  
地域医療を支える次世代の  
高校生・中学生が参加



職員家族のための職場参観  
EPA(経済連携協定)による  
第一陣ベトナム人看護師候補者2名が入職

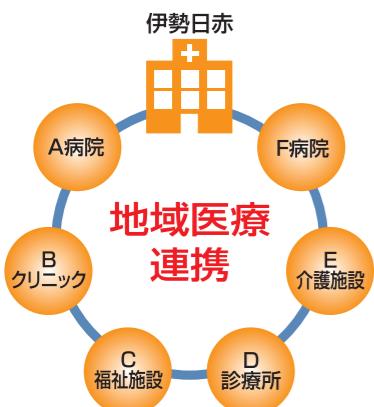
ウガンダ北部への  
医療支援事業帰国報告会



第2回 ゆずりは祭 地域愛  
—いつも心におかげさま♥—  
延来場者約2,700人を超えた

放射性物質災害(N災害)を想定した  
合同訓練を伊勢消防と実施  
放射性物質を取り扱う  
施設での火災を想定





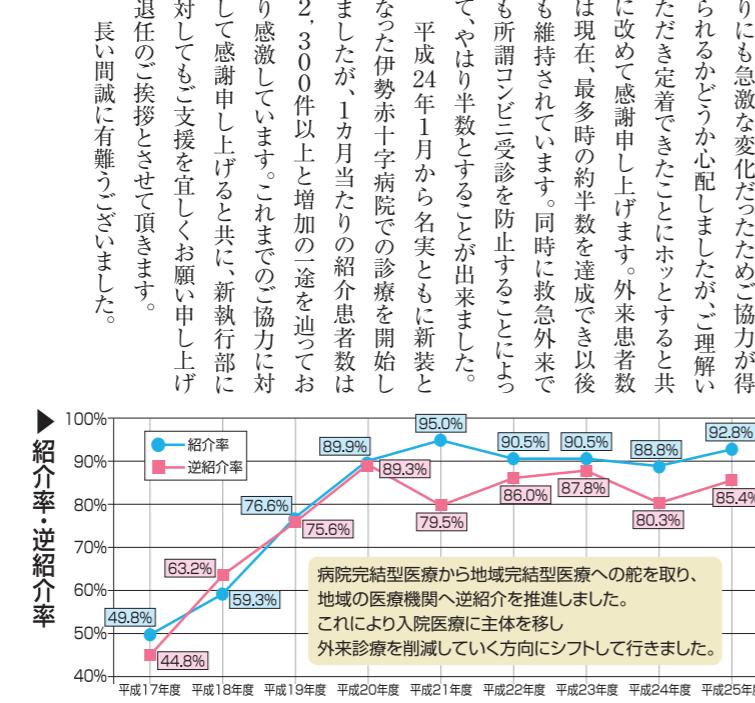
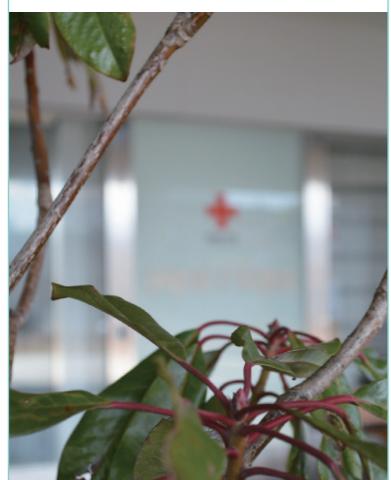
においても、自院の診療機能を集約・スマート化し、医療資源を効率的に活用するこことが求められています。

当院の使命は、地域医療の堅持です。高度な急性期医療を提供し、患者さんが出来るだけ早く住み慣れた地域に戻り、それまでと同様の日常生活が送れるように支援することです。そのためにも広域に力を加えた救急医療体制をより充実させ、医療の質向上に努め、介護・福祉施設も加えた地域連携をさらに強化していくないと考えます。

現在の日本の医療・介護・福祉はまだ軌道に乗ったとは言えない状況です。伊勢赤十字病院は、人道的見地から利益を求める奉仕的救護組織として、当院の理念「人道に基づき赤十字病院として質の高い医療を提供します」を遵守し、地域の皆様の健康と幸福を追求していきます。

お蔭様で3~4年という短期間で転換は定着し、紹介率、逆紹介率共に全国トップクラスを誇るまでになりました。当地域の病院が医師不足から診療機能を縮小させていく中、医師の疲弊を防ぐことにより医師の離脱を予防するのを目的として、入院医療に主体を移し外来診療を削減していく方向にシフトして行きました。余

**病院玄関に咲き並ぶ「ゆずりは」**  
新葉の生長後に古い葉が落ちることから、家系の繁栄が代々続いていることに見立てられ縁起物とされています。これから「ゆずりは」のように、名誉院長から新院長へ伊勢赤十字病院の伝統と医療の発展が受け継がれていきます。



皆様には、平素より伊勢赤十字病院の活動にご理解、ご支援いただきありがとうございます。このたび、病院長に就任いたしました楠田司です。よろしくお願ひいたします。

当院は、伊勢神宮を擁する三重県伊勢市に位置し、明治37年2月1日、日本赤十字社の最初の支部病院である三重支部山田病院として開設され、以来百二十年にわたり地域医療に努めてまいりました。

三重県、特に県南部の特徴としては、志摩半島から熊野灘に至る海岸線と紀伊山地に挟まれる南北に長い地形が挙げられます。このため、交通アクセスの不備、医師・病院の偏在という問題が以前から指摘されてきました。こうした環境の中、当院は昭和60年に救命救急センターを設置し、その後、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、べき地医療拠点病院の指定を受け、急性期医療を担う病院として成長してきました。しかし、それは依然として急性期から慢性期までの診療が混在するケアミックス型の医療形態でした。そこで、急性期機能をさらに高める目的で、10年前より村林前院長の下、逆紹介を推進し、地域医療機関との病診連携、病・病連携によって後方支援を得ながら、支援も行っています。さらに、3年前の新病院移転とともにドクターヘリ基地病院として県南部の遠距離救急搬送にも対応するようになりました。この結果、現在では紹介率95%、逆紹介率100%以上、平均在院日数13日という急性期に特化した病院として機能しております。

今後、日本の医療は厳しい環境にさらされます。2025年問題を始めとする少子高齢化により、医療と介護・福祉サービスが一体となった新たなケアシステムの構築が急がれています。また、どの病院

**人道に基づき、赤十字病院として質の高い医療を提供します。**

伊勢赤十字病院 院長 楠田 司

